

大阪府中央区～守口市大庭町

歩行距離 約11.3km
標準歩行時間 約2時間30分

京街道の起点、高麗橋から北の方向へ進みます。大阪城を過ぎてしばらく行くと京橋駅に至ります。この辺りは車が多いので注意して歩きましょう。「関目七曲り」といわれた、京阪電車関目駅付近の複雑な道を通りさらに進むと、守口市駅前に到達。ここから文禄堤の名残を歩きます。

定屋橋駅	京阪本線 約1分	北浜駅
祇園四条駅	京阪本線特急 約46分	北浜駅
守口市駅	京阪本線急 約12分	定屋橋駅
守口市駅	京阪本線急 約28分	梅葉駅
		京阪本線特急 約21分
		祇園四条駅

(2024年3月現在の昼間時の列車運行時刻をもとに記載)



高麗橋

高麗橋は、豊臣秀吉の時代に大坂城の外堀として開削された東横堀川に架かる橋で、江戸時代に入ると、交通の要所であるこの橋は、幕府が直接管理する公儀橋として重視されました。現在の橋は昭和4年(1929)に架けられた鉄筋コンクリート製のアーチ橋として、今も現役として使用されています。

●京阪電車 北浜駅から東へ徒歩約5分



川の駅はちけんや(八軒家浜)

「川の駅はちけんや」は、関西で初めての本格的な常設の水辺の情報発信拠点として誕生しました。施設がある八軒家浜は、古くから栄え、北前船や三十石船などの港としても、多くの人々が利用しました。「八軒家」と呼ばれるようになったのは、八軒の大きな船宿があったからと言われ、現在、「八軒家」は、八軒家浜船着場として整備され、多くの観光船で賑わっています。

●京阪電車 天満橋駅下車すぐ



大阪城

現在の天守閣は昭和6年(1931)に再建されたもので、豊臣時代から数えて3代目のものになります。再建は全額大阪市民の寄付でまかなわれ、今では大阪のシンボルとして大変親しまれています。平成9年(1997)、平成の大改修が完了し、登録有形文化財に指定されました。2階では復元した戦国武将の兜を、陣羽織と共に試着し、写真撮影が出来ます。(一人500円)

●開館時間: 9時～17時(入館は閉館の30分前まで。桜シーズン、GW、夏季の期間は開館時間延長あり) ●入館料: 大人600円 ●休館日: 年末年始 ●京阪電車 天満橋駅から南東へ徒歩約15分



野江水神社

水波女大神(みずのはめのおおかみ)が祭神。天文2年(1533)に、三好政長が近くに榎並城を築く際、たびたび水害に見舞われたことから、水火除難の守護神として建立したのが起源といわれています。現在も、水道工事やお風呂屋さんなど水に関係する人の参拝が多い神社です。

●京阪電車 野江駅から西へ徒歩約5分



千林商店街

大阪市旭区で京街道を中心に栄えた町が現在の千林商店街です。この界隈は京街道をはじめ野崎街道・杉山街道・剣街道などの旧街道が通る、旅の分岐点でもありました。商店街のはじまりは、明治末期の京阪・森小路駅の開業に伴うもので、呉服や飲食を扱う店舗が並んでいました。

●京阪電車 千林駅下車すぐ



文禄堤の跡

文禄堤は大坂城から伏見城までをつなぐ最短ルートとして、文禄5年(1596)に豊臣秀吉が毛利輝元、小早川隆景、吉川広家の三家に命じて淀川左岸の堤防を改修・整備したものです。のちに、守口宿の一部が築かれました。堤の長さは約27kmあったと言われていますが、度重なる淀川の改修工事で、そのほとんどは姿を消しており、現在では、この守口市本町の一部のみが江戸時代の宿場町の面影をしのぶことができる貴重な文化財です。(写真は守居橋付近)

●京阪電車 守口市駅下車すぐ



難宗寺

文明9年(1477)、蓮如上人が創建した守口御坊が始まりといわれる寺。少し東寄りにある盛泉寺を東御坊と呼ぶのに対して、西御坊と呼ばれています。境内にある樹齢約500年、高さ約25mの大いちょうは、大阪府の天然記念物に指定されており、毎年秋には美しく色づきます。

●京阪電車 守口市駅から北へ徒歩約5分



秀吉の築いた文禄堤が残る守口宿

街道の起点である高麗橋から出発して最初の宿場となる守口宿(東海道五十七次)。京阪電車守口市駅前には、市街地より約10mほど高くなった場所があり、これが文禄堤の名残です。虫籠(むしご)窓やうだつをあげた古い家並みが残っており、宿場の面影を感じさせます。

57次 守口宿 *	
人口	764人(177軒)
本陣	1軒
旅籠屋	27軒
宿建人馬	100人0疋
困人馬	35人
最寄駅	京阪 守口市駅
	大阪外口 守口駅

*[東海道宿村大規模]道中奉行所編 天保14年(1843)より